

平成 24 年度 事務事業事後評価調書（平成 23 年度事業）

整理番号 9 - 30

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	森林情報緊急整備事業							
評価者	担当課名		産業振興課	担当係名		林務係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長		
		氏名	石井弘道		氏名	福田泰弘		
事業の概要	森林計画制度の抜本的な見直し、施業の集約化や路網整備計画の策定、生物多様性など新たな国民のニーズへの対応において必要となる森林情報の整備が急務となっているため、森林資源情報と地図情報等をリンクさせた森林GISの導入を図る。					全体計画 / 単年度のみ (平成 23 年度～ 23 年度)		
						事業費	国・道支出	950 千円
							地方債	千円
							その他	千円
							一般財源	950 千円
					事業費計	1,900 千円		
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()			
第 5 期 総 合 計 画 (前期)			■ 登載事業	非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～						
	基本施策	2 林業の振興						
	単位施策	2 多面的機能の発揮						
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務				
	その他計画・根拠等							
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)		
	国・道支出金	千円	千円	千円	900 千円	千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円		
	雄武町負担額 (一般財源)	千円	千円	千円	899 千円	千円		
	合 計	千円	千円	千円	1,799 千円	千円		

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町に所在する森林	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	森林資源情報・地図情報を正確に把握する。	森林の計画的な整備・保全の推進			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	森林資源情報等を電子データ化し管理する。	① システム導入 ／システム導入の実績	指標(指標計算式／解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	平成23年度	
			目標値	一式	
			実績値	一式	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	森林資源情報データを正確に管理する。	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
①システム導入業務	森林資源情報等を電子データ化し管理するため、見積合せにより民間業者に発注し、システムを導入した。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	☐ 義務的なもの	雄武町森林整備計画の策定に必要であり、当該事業を実施しない場合、計画策定が困難である。
	☐ 全部 ☐ 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	森林資源情報等をデータ管理できたことにより、適切に雄武町森林整備計画を策定することができた。
	☒ 達成 ☐ ほぼ達成 ☐ 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	専門業者に委託することで、正確かつ効率的なシステムが導入され、また、コンピュータによる図面管理は、客体検索や資料出力等がストレスなく行えるため、職員の実務面において作業の軽減が図られ、時間短縮にも大きな効果がある。
	☐ 事業費抑制 ☐ 人員削減 ☒ 時間短縮・作業軽減 ☒ その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	雄武町森林整備計画を策定することにより、町民の財産である森林が適切に管理され、公平である。
	☐ 受益者負担がある ☐ 受益者負担がない ☐ 受益が一部に偏る ☒ その他	

4 総合評価【A～D】

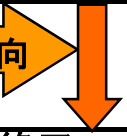
A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
森林資源情報システムが導入され、適切に雄武町森林整備計画を策定することができた。		

 今後の展開方向 (Action)  		
終了		
平成23年度事業終了		

* 展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--